

Armadillo-240 スタートアップガイド

Version 1.0.6-ed2fe52
2009/01/14

株式会社アットマークテクノ [<http://www.atmark-techno.com>]

Armadillo 公式サイト [<http://armadillo.atmark-techno.com>]

Armadillo-240 スタートアップガイド

株式会社アットマークテクノ

060-0035 札幌市中央区北 5 条東 2 丁目 AFT ビル 6F
TEL 011-207-6550 FAX 011-207-6570

製作著作 © 2008 Atmark Techno, Inc

Version 1.0.6-ed2fe52
2009/01/14

目次

1. はじめに	1
2. 注意事項	2
2.1. 安全に関する注意事項	2
2.2. 保証に関する注意事項	2
2.3. 取り扱い上の注意事項	3
2.4. Power over Ethernet(オプション)使用時の注意事項	3
2.5. ソフトウェア使用に関する注意事項	3
2.6. 商標について	3
3. ご使用の前に	4
3.1. 各部名称	4
3.2. 準備するもの	5
3.3. 準備するもの	5
3.4. VGA および LAN ケーブルの接続	6
3.5. 電源の投入	6
3.6. Armadillo-240 の終了	7
4. Armadillo-240 の内蔵機能	8
4.1. Bonjour	8
4.1.1. Bonjour のインストール	8
4.1.2. 動作確認	8
4.2. USB メモリ内のデータ表示機能	10
4.3. 画像の VGA 表示機能	10
5. WEB ブラウザによる Armadillo-240 の管理	12
5.1. Armadillo-240 管理画面「AT Admin」	12
5.2. AT Admin: 認証	13
5.3. AT Admin: Overview	13
5.3.1. Show USB Data	13
5.3.2. Network	13
5.3.3. Uptime	14
5.3.4. Firmware	14
5.4. AT Admin: USB Data	14
5.5. AT Admin: System	15
5.5.1. AT Admin: System - System Overview	15
5.5.2. AT Admin: System - Network	16
5.5.3. AT Admin: System - Password	18
5.5.4. AT Admin: System - Firmware	19
5.5.5. AT Admin: System - Save & Load	21
6. ネットワーク設定	25
6.1. Armadillo-240 の自動ネットワーク接続機構	25
6.2. 簡単な接続方法	25
6.3. その他の接続方法	25
6.3.1. DHCP 接続	25
6.3.2. Zeroconf 接続	25
6.3.3. 固定 IP アドレス設定接続	25
6.4. Bonjour 上のホスト名について	26
7. コンフィグ領域 – 設定ファイルの保存領域	27
7.1. コンフィグ領域の読出し	27
7.2. コンフィグ領域の保存	27
7.3. コンフィグ領域の初期化	27
8. トラブルシューティング	29
8.1. Armadillo-240 が起動しない	29

8.2. Bonjour から Armadillo-240 を発見できない	29
8.3. ネットワーク設定の変更後、WEB ブラウザ表示ができない	29

目次

3.1. Armadillo-240 のインターフェース	4
3.2. ケース作成方法	6
4.1. Internet Explorer のエクスプローラ バー設定	9
4.2. エクスプローラ バー "Bonjour";	9
5.1. AT admin: Overview	12
5.2. AT Admin: System ユーザ名/パスワード認証	13
5.3. AT Admin: USB Data	14
5.4. AT Admin: System - System Overview	15
5.5. AT Admin: System - Network	17
5.6. AT Admin: System - Network Update	18
5.7. AT Admin: System - Password	19
5.8. AT Admin: System - Firmware	20
5.9. AT Admin: System - Updating Firmware	21
5.10. AT Admin: System - Save & Load	22
5.11. AT Admin: System - Reload	23
5.12. AT Admin: System - Reboot	24
7.1. コンフィグ領域の読出し方法	27
7.2. コンフィグ領域の保存方法	27
7.3. コンフィグ領域の初期化方法	28

1.はじめに

このたびは Armadillo-240 をお買い求めいただき、ありがとうございます。

Armadillo-240 はイーサネットとVGA 出力端子、シリアルポート、USB ホスト機能、及び汎用 I/O インターフェースを持つ超小型ネットワークコンピュータです。ご購入頂いたそのままの状態、USB ポートに接続した USB メモリ¹の内容を、内蔵の WEB サーバで公開する機能を搭載しています。

標準 OS(オペレーティングシステム)に Linux を搭載していますので、フラッシュメモリの内容を書き換えることで、Linux の豊富なソフトウェア資産を利用することができます。また、C などのプログラミング言語を使用して、オリジナルのプログラムを作成し動作させることが可能です。

本マニュアルには、ご購入時の状態の Armadillo-240 で利用できる各種機能の利用方法が記載されています。Armadillo-240 をカスタマイズしてご利用される場合は、「Armadillo-200 シリーズソフトウェアマニュアル」を参照してください。

利用できる機能は、以下のとおりです。

PC から WEB ブラウザで 簡単設定	ネットワークに接続された PC の WEB ブラウザで、ネットワーク設定などの変更やファームウェアのアップデートなどを行うことができます。
USB メモリ内データ WEB 公開機能	Armadillo-240 の USB ポートに接続した USB メモリ内の画像データを、WEB ブラウザから見るすることができます。
USB メモリ内画像 VGA 表示機能	Armadillo-240 の USB ポートに接続した USB メモリ内の画像データを、VGA コネクタに接続したモニタに表示することができます。
SSH(Secure Shell)機能	SSH プロトコルを利用して、ネットワーク接続された PC から Armadillo-240 のコンソールにログインすることができます。

¹ 他のストレージクラスの USB 機器(USB HDD など)も、もちろん利用可能です。

2. 注意事項

2.1. 安全に関する注意事項

本製品を安全にご使用いただくために、特に以下の点にご注意くださいますようお願いいたします。



本製品には一般電子機器用 (O A 機器・通信機器・計測機器・工作機械等) に製造された半導体部品を使用しておりますので、その誤作動や故障が直接生命を脅かしたり、身体・財産等に危害を及ぼす恐れのある装置 (医療機器・交通機器・燃焼制御・安全装置等) に組み込んで使用したりしないでください。また、半導体部品を使用した製品は、外来ノイズやサージにより誤作動したり故障したりする可能性があります。ご使用になる場合は万一誤作動、故障した場合においても生命・身体・財産等が侵害されることのないよう、装置としての安全設計 (リミットスイッチやヒューズ・ブレーカ等の保護回路の設置、装置の多重化等) に万全を期されますようお願い申し上げます。

2.2. 保証に関する注意事項

製品保証範囲について 付属品 (ソフトウェアを含みます) を使用し、取扱説明書、各注意事項に基づく正常なご使用に限り有効です。万一正常なご使用のもと製品が故障した場合は、初期不良保証期間内であれば新品交換をさせていただきます。

保証対象外になる場合 次のような場合の故障・損傷は、保証期間内であっても保証対象外になります。

1. 取扱説明書に記載されている使用方法、または注意に反したお取り扱いによる場合
2. 改造や部品交換に起因する場合。または正規のものではない機器を接続したことによる場合
3. お客様のお手元に届いた後の輸送、移動時の落下など、お取り扱いの不備による場合
4. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災、公害や異常電圧による場合
5. AC アダプター、専用ケーブルなどの付属品について、同梱のものを使用していない場合
6. 修理依頼の際に購入時の付属品がすべて揃っていない場合

免責事項 弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、製品の使用および、故障、修理によって発生するいかなる損害についても、弊社は一切の責任を負わないものとします。



本製品の初期不良保証期間は商品到着後 2 週間です。本製品をご購入されましたらお手数でも必ず動作確認を行ってからご使用ください。本製品に対して注意事項を守らずに発生した故障につきましては保証対象外となります。

2.3. 取り扱い上の注意事項

本製品に恒久的なダメージをあたえないよう、取り扱い時には以下のような点にご注意ください。

- 電源の投入** 本製品や周辺回路に電源が入っている状態で汎用 I/O コネクタの着脱は絶対に行わないでください。
- 静電気** 本製品には CMOS デバイスを使用しておりますので、ご使用になるまでは帯電防止対策のされている、出荷時のパッケージ等にて保管してください。
- ラッチアップ** 電源および入出力からの過大なノイズやサージ、電源電圧の急激な変動等で使用している CMOS デバイスがラッチアップを起こす可能性があります。いったんラッチアップ状態になると、電源を切断しないかぎりこの状態が維持されるため、デバイスの破損につながる可能性があります。ノイズの影響を受けやすい入出力ラインには保護回路を入れることや、ノイズ源となる装置と共通の電源を使用しない等の対策をとることをお勧めします。

2.4. Power over Ethernet(オプション)使用時の注意事項

- LAN ケーブル** Type-B の給電装置を使う場合は、全結線されたケーブルを使用してください。
- LAN コネクタの再挿入** Power over Ethernet 使用時、LAN コネクタを再度挿し直したときに HUB 側が電装置確認のために通電が数秒遅れる場合がありますが動作に問題はありません。

2.5. ソフトウェア使用に関する注意事項

- 本製品に含まれるソフトウェアについて** 本製品に含まれるソフトウェア(付属のドキュメント等も含みます)は、現状のまま(AS IS)提供されるものであり、特定の目的に適合することや、その信頼性、正確性を保証するものではありません。また、本製品の使用による結果についてもなんら保証するものではありません。

2.6. 商標について

Armadillo は(株)アットマークテクノの登録商標です。その他の記載の会社名、製品名は、それぞれの登録商標または商標です。

3. ご使用前に

3.1. 各部名称

Armadillo-240 の各部名称と機能を簡単に説明します。

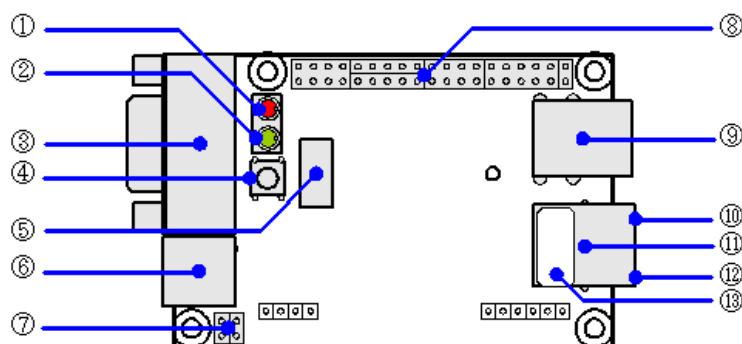


図 3.1. Armadillo-240 のインターフェース

1. LED(赤)
Armadillo-240 の起動状態を示します。動時とネットワークの設定を変更するとき点灯し、システムとして使用可能になると消灯します。システム設定を初期化した際、起動時に時間のかかる処理を行います。この間は点滅します。また、USB のデバイスを検知し使用可能になるまでの間も点滅します。
2. LED(緑)
LED(緑)は、電源状態を表します。点灯時は電源がオン、消灯時は電源がオフです。
3. VGA コネクタ
モニタ出力のために VGA ケーブルを接続するコネクタです。
4. タクトスイッチ
USB メモリ内画像 VGA 出力機能において、表示画像を切り替えるために使用します。
5. NAND モジュールコネクタ
NAND モジュール(オプション品)を接続するコネクタです。
6. 電源コネクタ
AC アダプターを接続するコネクタです。DC5V の AC アダプターをご利用になれます。
7. ジャンパピン
起動モードの変更に使用します。通常起動する場合は JP1、JP2 共にオープンにしておきます。ジャンパピンの設定に関する詳しい説明は、ハードウェアマニュアル「5.15. JP1, JP2 (起動モード設定ジャンパ)」をご覧ください。
8. 拡張コネクタ
本マニュアルでは使用しません。拡張コネクタに関する詳しい説明は、ハードウェアマニュアル「5. 各種インターフェース使用」をご覧ください。
9. USB コネクタ

USB デバイスを接続するコネクタです。

10. LAN Active LED(黄)

LAN のアクティブ状態を表示します。

11. LAN コネクタ

LAN ケーブルを接続するコネクタです。PoE(Power Over Ethernet)に対応¹しています。

12. LAN Link LED(緑)

LAN のリンク状態を表示します。

13. MAC アドレス表記

3.2. 準備するもの

Armadillo-240 を使用するにあたり、必要なものは以下のとおりです。その他の必要なものは、すべて Armadillo-240 開発用モデルに含まれています。

- VGA モニタ及びケーブル(垂直同期周波数 60Hz、800×600 ピクセルで表示可能なもの)
- LAN ケーブル(カテゴリ 5 以上のストレートケーブル。PC と直接接続する場合はクロスケーブル)

3.3. 準備するもの

以下の図のように Armadillo-240 をケースに収め、付属のネジで固定してください。ネジをきつく締め過ぎると、ケースが破損する恐れがありますので十分にご注意ください。

¹PoE による電源供給には、オプションの PoE モジュールの実装が必要となります。現在、PoE 対応モデルは受注生産品です。

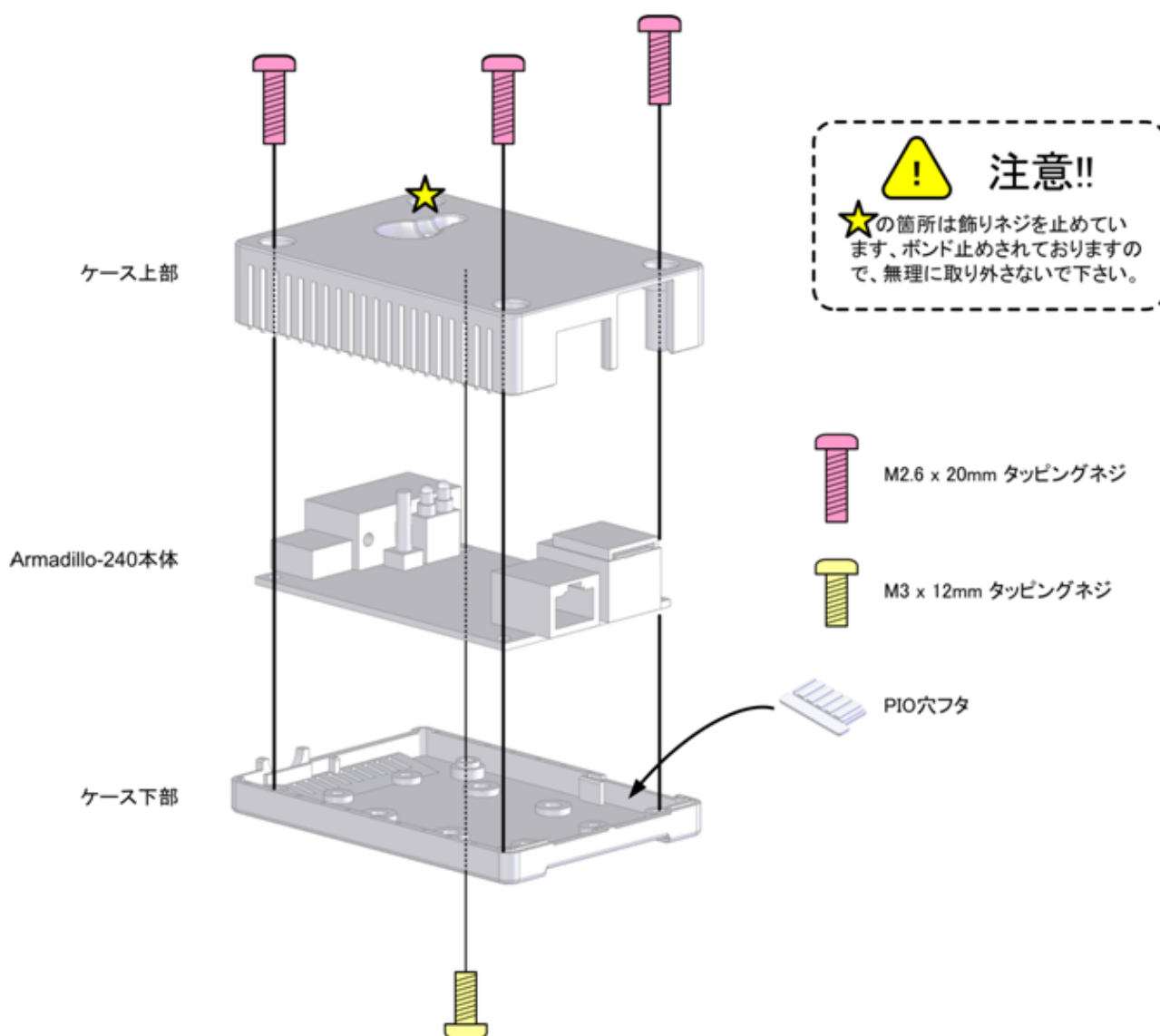


図 3.2. ケース作成方法

3.4. VGA および LAN ケーブルの接続

モニタに接続する VGA ケーブルと、LAN ケーブルを正しく接続してください。

3.5. 電源の投入

AC アダプターを電源コネクタに接続してください。

Armadillo-240 に電源が投入されると、LED(赤)とLED(緑)が点灯し自動的に起動が開始されます。その後、ネットワーク接続が完了するとLED(赤)だけが消灯します。

電源の投入後に LAN コネクタの Link LED が点灯することを確認してください。

3.6. Armadillo-240 の終了

AC アダプターを抜くと Armadillo-240 は終了します。

ただし、Armadillo-240 が内部の設定を変更している最中に電源を切断した場合、設定が正しく保存されない恐れがありますのでご注意ください。Armadillo-240 が設定の変更を行う状況は、以降の章で説明します。

4. Armadillo-240 の内蔵機能

4.1. Bonjour

Armadillo-240 は、Bonjour に対応しています。このため、同じネットワーク上の Bonjour に対応する PC から、Armadillo-240 を容易に見つけ出すことができます¹。

Apple 社 Web サイトより引用

[<http://www.apple.com/jp/ftp-info/reference/bonjourforwindows.html/>]



「Bonjour」は、ゼロコンフィギュレーション・ネットワークとも呼ばれていますが、IP ネットワーク上のコンピュータ、デバイス、およびサービスを自動的に検出するサービスです。「Bonjour」では、業界標準の IP プロトコルが使用されているので、IP アドレスを入力したり DNS サーバを設定しなくても、デバイスが相互に自動的に検出されます。

4.1.1. Bonjour のインストール

4.1.1.1. Windows

Windows で Bonjour を利用するには、Bonjour for Windows をインストールする必要があります。このソフトウェアは二次配布が許可されていないため、開発セットに付属していません。アップル社の WEB サイトからダウンロードしてください。

アップル - サポート - ダウンロード - Bonjour for Windows

[<http://www.apple.com/jp/ftp-info/reference/bonjourforwindows.html>]

ダウンロードした「BonjourSetup.exe」を実行し、表示される画面に従って適切にインストールしてください。

4.1.1.2. Mac OS X

Mac OS X では Bonjour は標準搭載されています。

4.1.1.3. Linux

Linux では、Avahi 及び nss-mdns ライブラリを利用して、Bonjour を扱うことができます。詳しくは、お使いのディストリビューションのドキュメントなどを参照してください。

4.1.2. 動作確認

Bonjour を使って Armadillo-240 の検出を行います。ここでは例として Windows 環境を使います。他の OS で作業する場合はそれぞれの環境のマニュアルを参照してください。

Windows PC で Internet Explorer を起動します。

¹PC 側のネットワーク設定は、通常は OS が持っている自動 IP アドレス取得機能を使用します。詳しくは「6 ネットワーク設定」を参照してください。

Bonjour がインストールされると、Internet Explorer(以下、IE)の 익스プロー라 バーに Bonjour の表示をすることが可能になります。メニューバーの「表示(V)」 「 익스プロー라 バー(E)」 「Bonjour」にチェックを入れてください。



図 4.1. Internet Explorer の 익스プロー라 バー設定

IE 左側の 익스プロー라 バー 「Bonjour」を見てください。



図 4.2. 익스プロー라 バー "Bonjour";

1 行目は、Bonjour について書かれた Apple 社 WEB サイトへのリンクになっています。

その下に「AT Admin on a240-0 [00:11:0C:XX:XX:XX]」と表示されています。これが、Armadillo-240 へのリンクです。「AT Admin on a240-0 [00:11:0C:XX:XX:XX]」をダブルクリックすると、ブラウザに Armadillo-240 管理画面「AT Admin」が表示されます。

익스プロー라 バーに「AT Admin on a240-0」が表示されない場合は、「8.2. Bonjour から Armadillo-240 を発見できない」を参照してください。「AT Admin」が表示されない場合、「6. ネットワーク設定」を参照して PC のネットワーク設定を適切に行ってください。


4.2. USB メモリ内のデータ表示機能

Armadillo-240 は、USB メモリ²内のデータを AT Admin 画面に表示する機能を持っています。使用する USB メモリは、以下の条件を満たす必要があります。

使用可能な USB メモリ 一般的な USB メモリを使用することができます。Windows PC に接続した際、特別なデバイスドライバなしで単一のリムーバブルディスクとして扱えるものである必要があります。

対応ファイルシステム 以下のいずれかのファイルシステムでフォーマットされている必要があります。

ファイルシステム	説明
ext2	Linux で広く利用されているファイルシステム
ext3	ext2 にジャーナリング機能などが追加されたファイルシステム
FAT16	Windows 3.1 や 95 で利用されるファイルシステム
FAT32	Windows 95 OSR 2.0 以降で利用できるファイルシステム



消費電流が 500mA を超える USB メモリデバイスはバスパワーで使用できません。
500mA を超えるストレージをご使用の際は、USB メモリ付属の AC アダプターを使用するなど、セルフパワーでお使いください。

USB メモリは、2 つある Armadillo-240 の USB ポートのどちらに接続しても構いません。接続後、USB メモリの認識が完了するまで数秒かかります。認識完了後、LED(赤)が数秒点滅し、点滅が終了することで、AT Admin 画面から内容を確認できるようになったことを示します。表示させるためには、AT Admin 画面を更新してください。

内容表示を終了する場合は、USB メモリを Armadillo-240 の USB ポートから外してください。少しの間 LED(赤)が点滅し、USB メモリが外されたことを伝えます。USB メモリを外しても、AT Admin 画面を更新するまでは、表示されたままになっています。

4.3. 画像の VGA 表示機能

Armadillo-240 は、USB メモリ²内に保存した画像データを、VGA モニタに表示する機能を持っています。

Armadillo-240 の VGA コネクタとモニタを接続し、Windows PC など画像データを保存した USB メモリをご用意ください。この際、以下の条件を満たす必要があります。

画像データは BMP, GIF³, JPEG, PNG いずれかの形式であること。 出力の際、縦横比率を維持したまま 800x600 ピクセル(24bit カラー)に収まるように拡大・縮小されます。元画像がこのフォーマットに適合しない場合、画質が劣化する場合があります。

ピクセル数が極端に大きくないこと。 著しくピクセル数の大きな画像を含めた場合、表示できない場合があります。JPEG 形式の画像は、1280x1024 ピクセル以上の画像

² 他のストレージクラスの USB 機器(USB HDD など)も、もちろん利用可能です。

³ アニメーション GIF には未対応です。


表示を行いません。他の形式の場合も、このサイズを大きく超えない画像を使用してください⁴。

表示する画像データは、すべて USB メモリの /images/ ディレクトリ下に格納してください。


例)		
/document/ img0001.jpg	×	/document/ ディレクトリ下は表示しない
/images/ 0002.jpg		/images/ ディレクトリ下の JPEG フォーマットは表示可能
/images/ 0003.tif	×	/images/ ディレクトリ下だが TIFF フォーマットは非対応
/images/bmp/ img0004.bmp		/images/ ディレクトリ内サブディレクトリの BMP は表示可能
/private/ images/ 0006.jpg	×	/private/ ディレクトリ内サブディレクトリ下は表示しない

USB メモリは、2 つある Armadillo-240 の USB ポートのどちらに接続しても構いません。接続後、USB メモリの認識が完了するまで数秒かかります。認識完了後、LED(赤)が数秒点滅し、点滅が終了してから、数秒程度で 1 枚目の画像が VGA モニタに表示されます。

USB メモリの images ディレクトリに複数の画像データを格納してある場合、Armadillo-240 本体上面のタクトスイッチを押すことによって次の画像に移ります。また、タクトスイッチを 1 秒以上押し続けることで 1 つ前の画像データに戻ることができます。



表示は、ファイル名を昇順ソートした順番となります。ファイル名に数字を含み、数字以外の部分が同じ場合は、数字の小さいものから順に表示します。最後のデータの次は先頭へ、最初のデータの前は後尾を表示します。



タクトスイッチを押してから数秒程度反応が遅れる場合があります。これは、画像データの拡大・縮小やデコードに時間がかかっているためです。この遅れを小さくしたい場合、予め格納する画像データを 800x600 ピクセル(24bit カラー)にしておく、BMP フォーマットを使用するといった対策をとってください。

内容表示を終了する場合は、USB メモリを Armadillo-240 の USB ポートから外してください。少しの間 LED(赤)が点滅し、USB メモリが外されたことを伝えます。

⁴ 大きな画像の読み込みを行うことでメモリが不足し、Armadillo-240 が正常に動作できなくなる可能性があります。

5.WEB ブラウザによる Armadillo-240 の管理

5.1. Armadillo-240 管理画面「AT Admin」

Bonjour 機能をつかって Armadillo-240 を選択すると、WEB ブラウザに「図 5.1. AT admin: Overview」のように Armadillo-240 のトップページが表示されます。

Armadillo-240 のトップページは、AT admin の「Overview」です。AT admin には「Overview」の他に「USB Data」と「System」が用意されています。

メニュー	機能
Overview	システム概要
USB Data	USB メモリ内データ表示
System	システム設定

これら 3 つの機能は、必ずページ上方のメニュー内に表示されます。文字列をクリックすることで、各ページを開くことができます。



図 5.1. AT admin: Overview

5.2. AT Admin: 認証

AT Admin ではユーザ名とパスワードによる認証を要求する場合があります。Armadillo-240 の場合、System を選択する場合に認証が必要です。このときは図 5-2 のようにサブウィンドウが表示されます。

初期状態でのユーザ名およびパスワードは以下の通りです。

ユーザ名	パスワード
admin	admin

ユーザ名とパスワードを入力し、OK ボタンを押してください。認証が正しく行われた場合、選択した画面が表示されます。

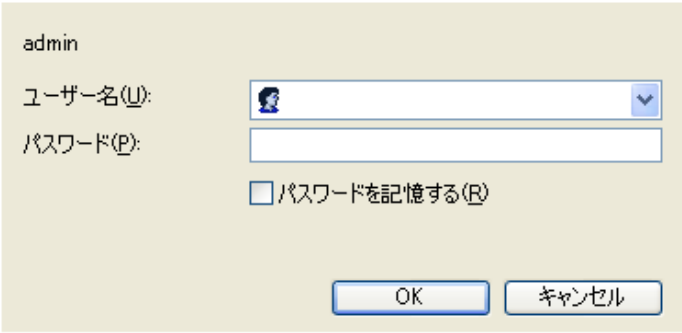


図 5.2. AT Admin: System ユーザ名/パスワード認証

5.3. AT Admin: Overview

Overview 画面の各部位について説明します。Overview には大きくわけて 4 つの情報が表示されま

す。

- Show USB Data
- Network
- Uptime
- Firmware

5.3.1. Show USB Data

USB メモリにあるデータを表示します。

5.3.2. Network

Network では現在のネットワーク設定の概要が表示されます。表示される項目は以下の 3 つです。

IP Address 現在の IP アドレスが表示されます。IP アドレスの後ろに「(auto)」と書かれている場合は、DHCP または Zeroconf により自動的に IP アドレスの設定がされていることを示します。逆に「(static)」となっている場合は固定 IP アドレスが設定されていることを示します。

MAC Address 割り振られている固有の MAC アドレスが表示されます。

Host name 設定されているホスト名が表示されます。初期状態は a240-0 です。

5.3.3. Uptime

Armadillo-240 が起動してからの経過時間が表示されます。時間表示は、日(days)、時(hours)、分(min)、秒(sec)で表されます。

5.3.4. Firmware

現在動作しているファームウェアについて表示されます。

Dist 使用しているディストリビューションのバージョンとプロファイル名が表示されます。

Kernel Linux カーネルのバージョンが表示されます。

5.4. AT Admin: USB Data

Overview 画面から「Show USB Data」をクリックするか、メニューバーから「USB Data」をクリックすると、USB Data 画面が表示されます。

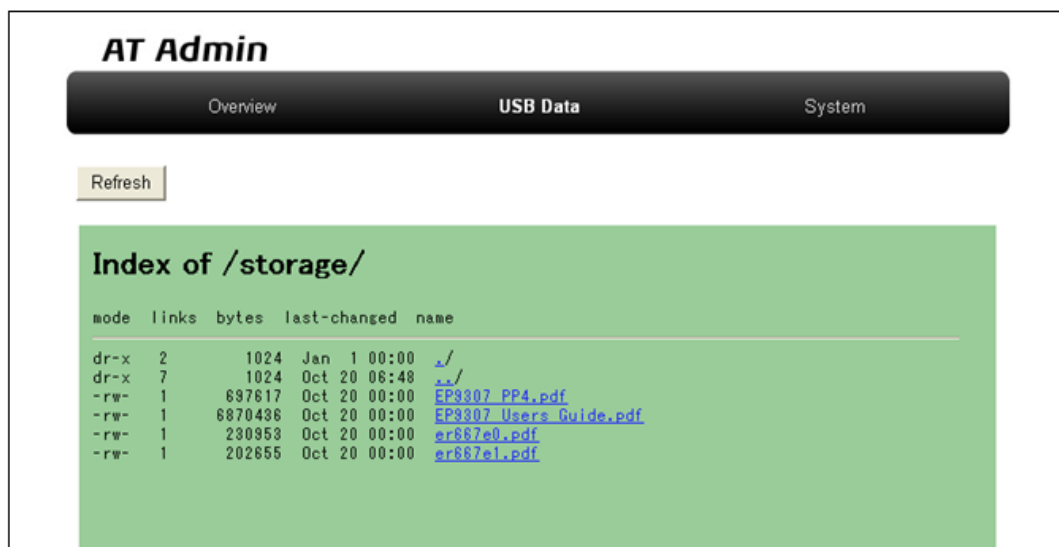


図 5.3. AT Admin: USB Data

画面の中央に、USB メモリ内のファイル一覧が表示されます。ディレクトリをクリックするとディレクトリ移動し、ファイルをクリックすると(PC のファイル種類関連付けに従い)ファイルが開かれます。後から USB メモリの抜き差しを行った場合などは、上下にある「Refresh」ボタンを押してください。画面内容が最新状態に更新されます。

5.5. AT Admin: System

5.5.1. AT Admin: System - System Overview

System Overview では Armadillo-240 に関する情報の設定および確認を行います。System Overview には大きく分けて 3 つの情報が表示されます。

- Network Info
- System State
- Firmware

AT Admin

Overview USB Data **System**

System Overview Network Password Firmware Save & Load

Network Info

IP Address 192.168.10.224 (auto)
MAC Address 00:11:0C:00:00:4B
Host name a240-0
Traffic 66 packets received
71 packets sent
Zeroconf Active

[show ifconfig](#)

System State

Load 0.05 (5min average)
Memory 61560K available, 36892K free
Uptime 0 days, 0 hours, 1 min, 7 sec

[show meminfo](#)
[show syslog](#)

Firmware

Version atmark-dist v1.7.2 (AtmarkTechno/Armadillo-240.Recover)
Kernel 2.6.12.3-a9-8

図 5.4. AT Admin: System - System Overview

5.5.1.1. Network Info

Network Info にはネットワーク設定の詳細が表示されます。

IP Address 現在の IP アドレスが表示されます。IP 番号の後ろに表示される文字列の意味は以下の通りです。

文字列	意味
(auto)	DHCP または Zeroconf による自動 IP 設定
(static)	固定 IP アドレスによる手動 IP 設定

MAC Address Armadillo-240 固有に割り振られている MAC アドレスが表示されます。

Host name 設定されているホスト名が表示されます。初期状態は a240-0 です。

Traffic システム起動後にネットワーク送受信されたパケット数が表示されます。

Zeroconf Bonjour による自動的なデバイス検出が有効であるかどうかが表示されます。

また、さらに詳しいネットワーク情報は「show ifconfig」から参照することができます。Show ifconfig のページは ifconfig コマンドの出力をそのまま表示します。表示内容の詳細については ifconfig のマニュアルを参照してください。

5.5.1.2. System State

現在のシステム状況を確認することができます。確認できる情報は以下の 3 つです。

Load システム負荷状態(Load Average)が表示されます。

Memory メモリの使用状態が表示されます。

Uptime Armadillo-240 システム起動時点からの経過時間が表示されます。

また、「show meminfo」および「show syslog」から、meminfo の情報とシステムログファイルの情報をそのままの状態を確認することができます。

5.5.1.3. Firmware

現在動作しているファームウェアについて表示されます。

Dist ディストリビューションと使用プロファイルについての情報です。ユーザーランド(アプリケーション群)ソフトウェアのバージョンと種類について表示されます。

Kernel Linux カーネルのバージョンについて表示されます。

5.5.2. AT Admin: System - Network

Network では、ネットワークに関する各種設定を変更することができます。Network では大きく分けて 2 つの設定を行うことができます。

- IP アドレス
- Hostname

図 5.5. AT Admin: System - Network

5.5.2.1. IP アドレス

AUTO IP 自動で IP アドレス取得・設定を行いたい場合に選択します。初期状態ではこちらが選択されています。ネットワーク内に DHCP サーバがある場合、DHCP 接続を行います。DHCP サーバが見つからなかった場合、Zeroconf によって自動で IP が割り振られます。詳細については「6 ネットワーク設定」を参照してください。

STATIC IP 固定で IP アドレスを設定する場合に選択します。以下の項目について、手動で入力設定する必要があります。

Address 設定する IP アドレスを入力します

Netmask 設定するサブネットマスクを入力します

Gateway 設定するゲートウェイサーバの IP アドレスを入力します。ゲートウェイを使用しない場合は、空欄にしてください

DNS Server 設定する DNS(ドメインネームシステム)サーバの IP アドレスを入力します。DNS を使用しない場合は、空欄にしてください

5.5.2.2. Hostname

ホスト名の変更確認を行います。変更する場合はテキストボックス内に新しいホスト名を入力してください。初期状態では「a240-0」となっています。Bonjour では、この設定とデフォルトのネットワーク名である「.local」の組み合わせを使用するため、初期状態では「a240-0.local」が Armadillo-240 の名称となります。この名称は、WEB ブラウザのアドレスで確認することができます。詳細については「6.4. Bonjour 上のホスト名について」を参照してください。

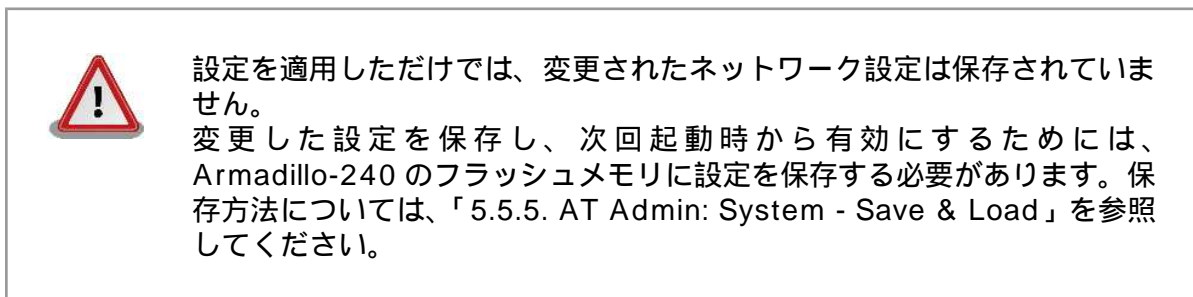
5.5.2.3. Update

設定を入力後「Update」ボタンを押すと、以下のような画面が表示された後、Armadillo-240 は新しいネットワーク設定で動作を開始します。



図 5.6. AT Admin: System - Network Update

ネットワーク設定を変更している間は、Armadillo-240 の LED(赤)が点灯します。数秒～十数秒後に消灯します。消灯を確認してから Armadillo-240 のトップページにアクセスしてください。



5.5.3. AT Admin: System - Password

Password では、Packet Scan と System 画面の認証で使用するユーザ名とパスワードの変更を行います。

図 5.7. AT Admin: System - Password

5.5.3.1. User and Password Details

- | | |
|----------------------|---------------------------------------|
| Username | 管理ユーザの名前を入力します。初期状態では「admin」です。 |
| Current password | 現在のパスワードを確認のために入力します。初期状態では「admin」です。 |
| New password | 新しいパスワードを入力します。 |
| Confirm new password | 確認のため、もう一度新しいパスワードを入力します。 |

5.5.3.2. ユーザ名・パスワード設定の適用

設定を入力後「Update」ボタンを押すと、変更内容が適用されます。



設定を適用しただけでは、変更された設定は保存されていません。変更した設定を保存し、次回起動時から有効にするためには、Armadillo-240 のフラッシュメモリに設定を保存する必要があります。保存方法については、「5.5.5. AT Admin: System - Save & Load」を参照してください。

5.5.4. AT Admin: System - Firmware

Firmware では、ユーザーランド(アプリケーション群)及び Linux カーネルのファームウェア更新を行うことができます。

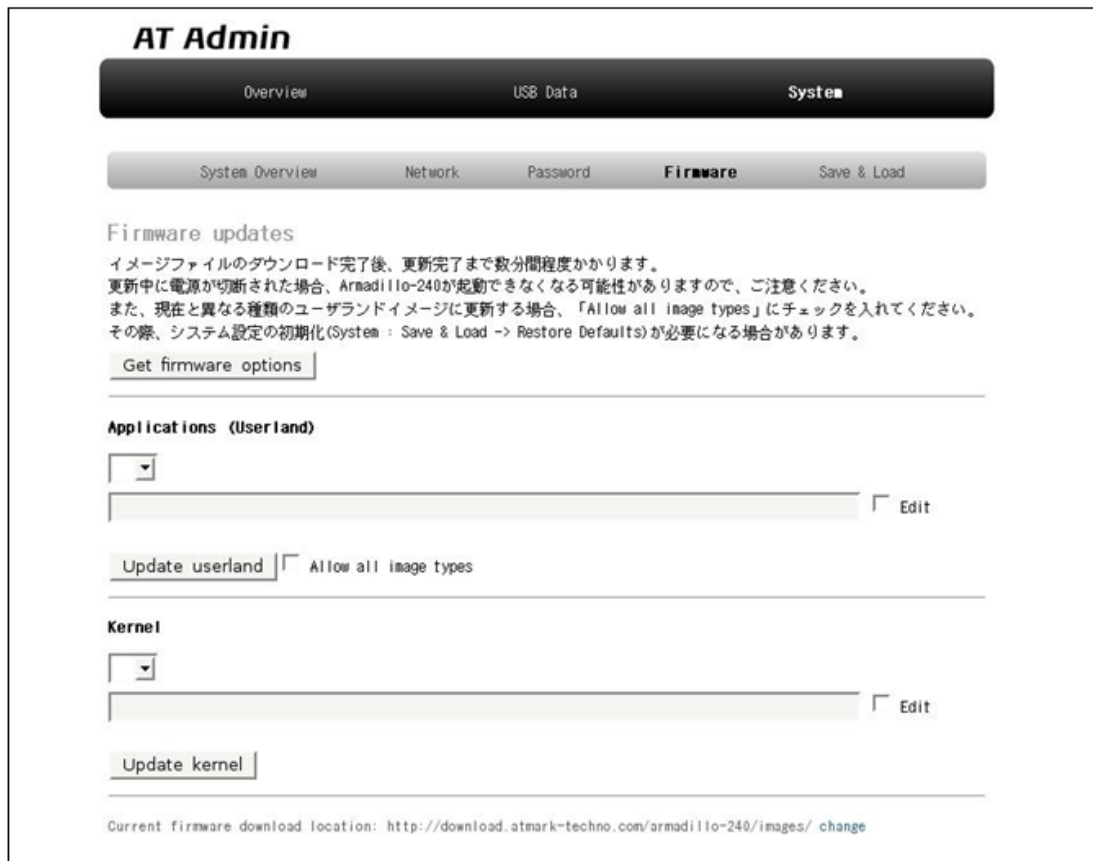


図 5.8. AT Admin: System - Firmware

公式 WEB サイトで公開されているイメージファイルに更新する場合、まず「Get firmware options」ボタンを押してください。その下の「Applications (Userland)」「Kernel」の各ボックスに、存在するイメージファイルが表示されます。(当機能を使用する場合、インターネットに接続可能である必要があります)

5.5.4.1. Applications (Userland)

ユーザーランド (アプリケーション群)更新を行う項目です。

イメージ選択ボックス サーバに存在するユーザーランドイメージが登録されています。更新したいイメージを選択します。

URL 入力ボックス ダウンロードするユーザーランドイメージファイルの URL が表示されます。ボックス右側の「Edit」にチェックを入れると、このボックスに任意の URL を直接入力することが可能になります¹。

「Update userland」ボタンを押すと、ユーザーランドイメージのダウンロードが始まり、その後フラッシュメモリの更新が開始されます。また、現在と異なる種類のユーザーランドイメージに更新する場合²は、「Update userland」ボタンを押す前に、「Allow all image types」にチェックを入れてください。

¹「Edit」にチェックを入れた場合、URL 入力ボックスへの直接入力が優先され、イメージ選択ボックスによる選択は無視されます。

²Base から Recover イメージ、または Recover から Base イメージに更新する場合です。

5.5.4.2. Kernel

Linux カーネル更新を行う項目です。

- | | |
|----------------|---|
| イメージ選択
ボックス | サーバに存在するカーネルイメージが登録されています。更新したいイメージを選択します。 |
| URL 入力
ボックス | ダウンロードする Linux カーネルイメージファイルの URL が表示されます。ボックス右側の「Edit」にチェックを入れると、このボックスに URL を直接入力することが可能になります ³ 。 |

「Update kernel」ボタンを押すと、Linux カーネルイメージのダウンロードが始まり、その後フラッシュメモリの更新が開始されます。

5.5.4.3. イメージの更新



「Update userland」「Update kernel」が開始されると、「 5.9. AT Admin: System - Updating Firmware」が表示されます。



図 5.9. AT Admin: System - Updating Firmware

ファームウェアの更新中は、Armadillo-240 の電源を切らないでください。更新完了前に Armadillo-240 の電源が切断された場合、Armadillo-240 が起動しなくなる可能性がありますので、十分に注意してください。更新完了後は、「 5.8. AT Admin: System - Firmware」に戻ります。ユーザーランド・カーネルの更新を連続して行いたい場合、続けて選択・入力を行ってから更新開始ボタンを押してください。

以前と異なる種類のファームウェアを書き込んだ場合、設定ファイルの初期化が必要となります。設定ファイルの初期化については、「5.5.5. AT Admin: System - Save & Load」を参照してください。

すべての更新完了後、新しいファームウェアで動作させるためには Armadillo-240 の再起動を行う必要があります。AT Admin からの再起動方法については、「5.5.5. AT Admin: System - Save & Load」を参照してください。

5.5.5. AT Admin: System - Save & Load

Save & Load では、変更した各種システム設定のフラッシュメモリへの保存や、以前の設定状態の回復・初期化、システムの再起動などを行うことができます。

³「Edit」にチェックを入れた場合、URL 入力ボックスへの直接入力が優先され、イメージ選択ボックスによる選択は無視されません。



図 5.10. AT Admin: System - Save & Load

5.5.5.1. Save & Load System Settings

システム設定の保存・回復を行うための項目です。

現在の設定をフラッシュに保存する (Save)

Network Settings や Password で適用した設定をフラッシュメモリに保存します。保存した設定は、一旦 Armadillo-240 の電源を切断した後、次回以降の起動時にも有効になります。

現在のシステム設定を破棄し、フラッシュに保存されている元の設定に戻す (Reload)

現在動作している設定を破棄し、フラッシュメモリに保存されている設定を読み出して以前の状態に戻します。以下のような画面が表示された後、Armadillo-240 は新しい(フラッシュメモリから読み出された)ネットワーク設定で動作を開始します。



図 5.11. AT Admin: System - Reload

以前の設定に戻した結果、ネットワーク接続が変更された場合は、Armadillo-240 の LED(赤)が点灯します。LED(赤)の消灯を確認してから、Armadillo-240 のトップページにアクセスしてください。

現在のシステム設定を破棄し、初期状態の設定にする (Restore Defaults)

現在動作している設定を破棄し、システム設定を動作中のファームウェアにおける初期状態にします。フラッシュメモリに保存されている設定についても初期化されます。

5.5.5.2. System Reboot

システムの再起動を行うための項目です。

システムを再起動する (Reboot) Armadillo-240 を再起動します。「図 5.12. AT Admin: System - Reboot」が表示された後、10 秒程度で Armadillo-240 が終了し、再び起動します。



図 5.12. AT Admin: System - Reboot

再起動後、ネットワーク接続を変更している間は、Armadillo-240 の LED(赤)が点灯します。十秒～数分後に消灯しますので、これを確認してから改めて Armadillo-240 のトップページにアクセスしてください。

6. ネットワーク設定

6.1. Armadillo-240 の自動ネットワーク接続機構

初期状態の Armadillo-240 は、自動的に IP アドレスが割り振られネットワークに接続できるように設定されています。PC 側のネットワーク接続についても、Armadillo-240 が自動的に接続したネットワークに適切に接続されるよう設定する必要があります。

6.2. 簡単な接続方法

Armadillo-240 は、DHCP 接続または Zeroconf 接続という手法でネットワークに接続します。この Armadillo-240 と同じネットワークに接続する最も簡単な方法は、OS による自動 IP アドレス設定を利用することです。Windows XP の場合、TCP/IP を「IP アドレスを自動的に取得する」にしておくことで、Armadillo-240 と同じように DHCP または Zeroconf が適切に設定されますので、これ以上の手順は必要ありません。

6.3. その他の接続方法

Armadillo-240 が起動され自動的にネットワーク接続を行う際の詳細について追いながら、その他のネットワーク接続設定について説明します。

6.3.1. DHCP 接続

Armadillo-240 がネットワークに自動接続する際、最初に DHCP 接続を試みます。ネットワーク内に DHCP サーバがある場合、Armadillo-240 はその DHCP サーバからの応答に従って IP アドレスが割り振られます。PC は、同じように DHCP 接続することにより、必ず Armadillo-240 と同じネットワークに接続されることになります。

6.3.2. Zeroconf 接続

Armadillo-240 が DHCP サーバを見つけられなかった場合、Zeroconf (IPv4LL) という機構を使って IP アドレスを割り当てます。

こうして設定された Armadillo-240 と接続するために、PC も同じネットワークに接続しなければなりません。PC 側でも Zeroconf 使うことができれば、当然問題なく接続できます¹。

もう一つの方法は、Zeroconf 接続と同じネットワークになるような設定を、固定 IP アドレス設定で行うという方法があります。169.254.0.1 ~ 169.254.255.254 の任意の IP アドレスとサブネットマスク 255.255.0.0 の組み合わせを PC のネットワーク設定に使用することで、Zeroconf と同じネットワークに接続することができます。こうして設定した任意の IP アドレスが、たまたま Armadillo-240 が設定した IP アドレスと重なることがありますが、これについては問題になりません。Armadillo-240 の Zeroconf は、自身と同一の IP を持つ個体からの発信を見つけると、すぐに自ら IP アドレスを変更しますので、一定時間後にはお互いを認識可能になります。

6.3.3. 固定 IP アドレス設定接続

Armadillo-240 は初期状態で自動ネットワーク接続を行いますが、もちろん固定的にネットワーク接続させることも可能です。一旦、自動ネットワーク接続で PC から Armadillo-240 を発見できれば、WEB

¹Zeroconf は、Windows では自動プライベート IP アドレッシング (APIPA) とも呼ばれており、Zeroconf では、特定のアドレス範囲 (169.254.0.1 ~ 169.254.255.254) 内のアドレスを使用し、サブネットマスクを 255.255.0.0 に設定します。なお、この範囲の IP アドレスは IANA (Internet Assigned Numbers Authority) によって予約されています。

ブラウザからの操作で Armadillo-240 に固定 IP アドレスを割り振ることができます。この方法については、「5.5.2. AT Admin: System - Network」を参照してください。

6.4. Bonjour 上のホスト名について

Bonjour によるホスト名の表示は、Armadillo-240 に設定されたホスト名(初期状態では「a240-0」)と同じになります。また、Bonjour のネットワーク名は「.local」となっています。このため、Bonjour から開いた WEB ブラウザの URL は通常「http://a240-0.local/」となります。

ただし、同じネットワーク上に同一のホスト名が存在した場合(初期状態の Armadillo-240 を複数接続するなど)、この 2 台目以降のホスト名は、末尾の数字が変化します。例えば、初期状態の名称でこのような状態になると、2 台目は「http://a240-1.local/」、3 台目は「http://a240-2.local/」...となります。この場合 2 台目以降の Armadillo-240 は、結果的に「AT Admin」上で設定されたホスト名と Bonjour ホスト名が一致しないこととなりますので、注意してください。

このような場合でも、MAC アドレスによって固体を判別することは可能です。Internet Explorer の Bonjour リストには MAC アドレスが表示されますので、本体添付シールとの比較で特定することができます。「図 4.2. エクスプローラ バー "Bonjour";」を参照してください。

7. コンフィグ領域 – 設定ファイルの保存領域

コンフィグ領域は、設定ファイルなどを保存しハードウェアのリセット後にもデータを保持することができるフラッシュメモリ領域です。コンフィグ領域からのデータの読出し、またはコンフィグ領域への書込みは、flatfsd コマンドを使用します。

7.1. コンフィグ領域の読出し

コンフィグ領域を読み出すには以下のコマンドを実行します。読み出されたファイルは、「/etc/config」ディレクトリに作成されます。

```
[armadillo ~]# flatfsd -r
```

図 7.1. コンフィグ領域の読出し方法



デフォルトのソフトウェアでは、起動時に自動的にコンフィグ領域の読出しを行うように設定されています。コンフィグ領域の情報が壊れている場合、「/etc/default」ディレクトリの内容が反映されません。

7.2. コンフィグ領域の保存

コンフィグ領域を保存するには以下のコマンドを実行します。保存されるファイルは、「/etc/config」ディレクトリ以下のファイルです。

```
[armadillo ~]# flatfsd -s
```

図 7.2. コンフィグ領域の保存方法



コンフィグ領域の保存をおこなわない場合、「/etc/config」ディレクトリ以下のファイルへの変更は電源遮断時に失われます。

7.3. コンフィグ領域の初期化

コンフィグ領域を初期化するには以下のコマンドを実行します。初期化時には、「/etc/default」ディレクトリ以下のファイルがコンフィグ領域に保存され、且つ「/etc/config」ディレクトリにファイルが複製されます。


```
[armadillo ~]# flatfsd -w
```

図 7.3. コンフィグ領域の初期化方法

8. トラブルシューティング

8.1. Armadillo-240 が起動しない

- 電源投入時に LED(緑)が点灯するか確認してください。点灯していない場合は電源が正しく接続されているか確認してください。

8.2. Bonjour から Armadillo-240 を発見できない

- LAN Link LED が点灯しているか確認してください。点灯していない場合は LAN ケーブルを適切に挿入してください。
- Bonjour で接続している PC と、発見したい Armadillo-240 の間にルータがない事を確認してください。ルータがある場合は発見できません。
- ファイアウォールを使用している場合、Bonjour で使用するポート「UDP 5353」が使用可能状態となっているかどうかを確認してください。

8.3. ネットワーク設定の変更後、WEB ブラウザ表示ができない

- AUTO (自動) IP 設定から STATIC(固定) IP 設定に変更したことなどによって IP アドレスが変更された場合、ホスト名と IP アドレスの対応が変わります。しかし WEB ブラウザによっては、キャッシュされた古い IP アドレスを使い続けてしまい、ホスト名による表示が一時的にできなくなる場合があります。このような場合、一旦 WEB ブラウザを終了し、再度 WEB ブラウザを立ち上げ直してから、改めてトップページの表示を試みてください。



Internet Explorer Version 6 で、この現象の発生と、ブラウザ再起動による回復を確認しています。

- 上記を行っても表示ができない場合、Armadillo-240 が不正なネットワーク接続状態となっている可能性があります。この時点で変更されたネットワーク設定はまだフラッシュメモリに保存されていないので、一旦 Armadillo-240 の電源を切断し、再度電源を入れてからネットワーク設定変更をやり直してください。

改訂履歴

バージョン	年月日	改訂内容
1.0.0	2006/9/7	<ul style="list-style-type: none">• 初版発行
1.0.1	2006/10/20	<ul style="list-style-type: none">• Armadillo-230 スタートアップガイドに準拠• 「2.2. 保証に関する注意事項」を追加• 「ユーザランド」を「ユーザーランド」に統一• 「Flash メモリ」を「フラッシュメモリ」に統一
1.0.2	2006/11/9	<ul style="list-style-type: none">• 図 (画面) に外枠を追加
1.0.3	2007/7/20	<ul style="list-style-type: none">• 初期不良の保証期間に関する記述修正• 「4.2. USB メモリ内のデータ表示機能」について、atmark-dist-20070720 で変更された内容にあわせて修正。• 「4.3. 画像の VGA 表示機能」について、atmark-dist-20070720 で変更された内容にあわせて修正。• 「5.5.1. AT Admin: System - System Overview」の機能説明文を図の前へ移動
1.0.4	2007/9/14	<ul style="list-style-type: none">• 「2.2. 保証に関する注意事項」の製品の保証方法を修正• 「図 5.8. AT Admin: System - Firmware」を、機能追加による画面変更により修正• 「5.5.4.1. Applications (Userland)」のユーザーランドの書き換え方法を修正
1.0.5	2007/10/02	<ul style="list-style-type: none">• タイトルを英語表記からカタカナ表記に
1.0.6	2007/01/14	<ul style="list-style-type: none">• 「7. コンフィグ領域 – 設定ファイルの保存領域」を追加• 「1. はじめに」「3.1. 各部名称」「4.3. 画像の VGA 表示機能」「5.5.5.1. Save & Load System Settings」誤記修正

Armadillo-240 スタートアップガイド
Version 1.0.6-ed2fe52
2009/01/14

株式会社アットマークテクノ

060-0035 札幌市中央区北 5 条東 2 丁目 AFT ビル 6F TEL 011-207-6550 FAX 011-207-6570
